

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標：

- ・学校教育における性教育の意義と必要性を理解し説明することができる。
- ・学校における包括的性教育は、性と生殖に関する健康、セクシュアリティ、行動、態度に関する事実と科学的根拠に基づいて構成されていることを理解することができる。
- ・日本の性教育をめぐる現状を諸外国の状況と比較しながら検討し、日本の性教育の課題について具体的に考察することができる。

本科目は DP における「幅広い視野に立った精深な学識の習得」「研究課題の設定・考察能力の育成」に関連し、高度な専門性と実践的な知見を備えた職業人の育成を目指す。

授業の概要：

性教育の国際的動向として、性を「人権」「科学」の視点からとらえ、すべての子どもたちの性的健康を保障するものと考えられている。一方、日本では2002年以降続いた性教育バッシングの影響等により、学校における性に関する指導に対し教育関係者が慎重な姿勢を示す傾向がみられた。現在も若者の性に関する諸問題は継続的に存在しており、適切な性教育を受けていないことによる課題は依然として残っている。これらを踏まえ、日本の性教育をめぐる現状を諸外国の状況と比較しながら検討し、日本の性教育の課題および学校における包括的性教育について考察する。

【授業計画】

- ① 科目オリエンテーション、諸外国の性教育の現状
オリエンテーション、諸外国と日本の性教育の違いについて考える。
- ② 性の多様性を学ぶ
性の多様性教育について考える。
- ③ 包括的セクシュアリティ教育(CSE)の理解
包括的セクシュアリティ教育の目的、対象、内容について理解する。
- ④ 効果的な包括的セクシュアリティ教育プログラムの実際
国際セクシュアリティ教育ガイダンスのキーコンセプト、トピック、学習目標について理解する。
- ⑤ 若者の性と性教育をめぐる現状と課題
若者の性行動の現状と性教育をめぐる諸課題について考える。
- ⑥ 学校における性に関する指導
性に関する指導の目標を達成するために必要な事柄について検討する。
- ⑦ 性感染症の予防
性感染症の予防、治療について理解する。
- ⑧ HIV/AIDS と私たちの暮らし
HIV 感染症に関する国内外の動向について理解し、陽性者の暮らしについて考える。
- ⑨ リプロダクティブ・ヘルス/ライツとしての妊娠・出産・中絶①
妊娠・出産・中絶に関して主体的に取り組むために必要な知識について理解する。
- ⑩ リプロダクティブ・ヘルス/ライツとしての妊娠・出産・中絶②
若者が主体的に避妊法を選択できるような支援、性教育について考える。
- ⑪ 学校における性暴力の対応と予防教育

性暴力の理解、予防教育について考える。

⑫ パートナーシップ制度と同性婚訴

各自治体で取り組まれているパートナーシップ制度、同性婚訴訟について考える。

⑬ 性教育ワークショップ①

課題発表とグループ討議

⑭ 性教育ワークショップ②

課題発表とグループ討議

【授業外学習】

講義に関連する文献リストを初回に配布するので、それに基づいて、事前に学習すること。

【成績評価の方法・基準】

授業展開への貢献度（平常点）とレポート提出、各々50%で評価する。

【教科書】

なし

【参考書】【教材】

参考書として、橋本紀子、池谷壽夫、田代美江子編著『教科書にみる世界の性教育』かもがわ出版、2018年、橋本紀子、田代美江子、関口久志編著『ハタチまでに知っておきたい性のこと』改訂版、大月書店、2025年を使用するが、その他、資料を配付し、適宜、他の参考書を紹介する。

【備考】

なし